

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-1	地域資料および古典籍の有効活用を図るとともに、大阪に関わる情報へのゲートウェイをめざして、データベースの拡充など、大阪のあらゆる分野に関する情報発信を強化します。					
評価 (26年度)	△	【評価の理由】 大阪関係コンテンツアクセス数は前年度の数値を大きく割り込み、目標値に達しなかった。原因として、ホームページのCMS移行（平成26年1月）に伴うURL変更の影響が考えられたため、年度後半にリダイレクト等の対策を講じた。 大阪文献データベースへのデータ登録は計画通りに実施できた。大阪についての百科事典的データベースを目指す「デジタル大阪ポータル」（仮称）の実現に向けて、その核となる大阪文献データベースの機能強化案を基に、基本的な考え方を整理した。				
重点指標	24年度 実績	目標	実績			26年度 達成度
			25年度	26年度	27年度	
大阪関係コンテンツ アクセス数	427,912	毎年 430,000	456,583	315,401		C
大阪文献データベース 新規登録数	2,610	毎年 2,650	2,650	2665		B
【アクション・プラン】						
	取組み		達成状況			
平成 25 年 度	(1)レファレンス事例公開・大阪文献データベースへのデータ登録の推進 (2)「デジタル大阪ポータル」（仮称）実現に向けた大阪文献データベースの機能強化の検討		(1)大阪文献データベースのデータ登録は計画どおり実施 (2)従来提供してきた「貴重書画像データベース」等の各種画像データベースを再構築し、「おおさかeコレクション」として運用開始。大阪文献データベースの機能強化について検討			
平成 26 年 度	(1)大阪文献データベースの機能強化案に基づき大阪府立図書館のデータベースや他機関の大阪関係のデータベースの情報も収集する「デジタル大阪ポータル」（仮称）の仕様を作成		(1)大阪文献データベースの機能強化案に基づく「デジタル大阪ポータル」（仮称）の基本的な考え方を整理			
平成 27 年 度	(1)「デジタル大阪ポータル」（仮称）の基本的な考え方に従い、大阪文献データベースの機能強化の実現性を探る					
【アクション・プランのねらい】（25年度当初に記入）						
・レファレンス事例を積極的にインターネットで公開していくことにより、大阪在住の利用者にはもちろん、大阪在住以外の利用者にも、当館所蔵の資料の紹介や、大阪について調査する際の参考資料および調査方法を提示する。 ・大阪に関係する図書、地域誌、広報誌などで取り上げられた細かい事象に関する記事は、書名からの蔵書検索や、一般的な雑誌記事検索のデータベースでは調査することが困難である。大阪文献データベースにこれらの記事を登録し、データベースを充実させることにより、図書館利用者の調査の便宜を図る。 ・図書館情報システムのリプレイスを機に、大阪文献データベースの機能強化の検討を行い、大阪のことなら何でもわかる「デジタル大阪ポータル」（仮称）をめざした取組みを進める。						

基本方針 4 大阪府立図書館は、大阪の歴史と知の蓄積を確実に未来に伝えます。

重点目標 4-2	地域資料および古典籍サービスにおける専門性を活かし、外部人材・機関とのネットワークを形成します。						
評価 (26年度)		【評価の理由】 連携事業、研修・講師派遣は計画通りに実施でき、両者とも目標を上回る実績となった。 なかでも出前講習については、昨年度に引き続き府域図書館から多くの開催要望が寄せられ、実施後のアンケートでも引き続き高い満足度が得られた。					
重点指標		24年度 実績	目標	実績			26年度 達成度
				25年度	26年度	27年度	
連携事業数		3	毎年 3	6	4		A
研修実施回数 (講師派遣回数を含む)		2	毎年 2	6	3		A
【アクション・プラン】							
	取組み			達成状況			
平成 25 年 度	(1) 研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2) 連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進 (3) 参加型事業の検討			(1) ・府域図書館への情報検索出前講習(3回) ・図書館を学ぶ相互講座(1回) ・府立大学、奈良大学への図書館及び図書館資料についての紹介(2回) (2) ・織田作之助生誕 100 周年記念事業推進委員会、立命館大学アート・リサーチセンター、府立大学貴重書部会、高麗大学(韓国)、大阪府農政室、大阪府府民文化部と連携・協力 (3) 110 周年に向けて中之島図書館検定等の参加型事業を検討			
平成 26 年 度	(1) 研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2) 連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進 (3) 110 周年に向けて参加型事業の実施			(1)府域図書館への情報検索出前講習(3回) (2)平成 OSAKA 天の川伝説推進会議、府立大学貴重書部会、高麗大学(韓国)、大阪府府民文化部と連携・協力 (3)中之島エリアが持つ文化芸術歴史の魅力を発信するための事業を公募提案により実施			
平成 27 年 度	(1)研修の実施 出前講習等の企画・実施 (2)連携事業 連携先の拡大に向けた取組みの推進						
【アクション・プランのねらい】(25年度当初に記入) ・蓄積してきた専門性を活かし、研修や講師派遣を積極的に実施することにより、外部人材とのネットワークを広げる。 ・耐震補強工事により自館での活動が制約される中、図書館はもちろん、他機関との連携事業や協力を進めて、前年度並みの実績を維持する。							